

研究実施のお知らせ

研究課題名

がん登録事業データを利用した横須賀市胃がんリスク層別化検診参加者の長期的な発癌リスクの検証

研究の対象となる方

2012年1月から2023年12月までの間に横須賀市の胃がんリスク検診(ABC検診)を受診された方のうち、以下の条件を満たす方が対象となります：

- ・ 検診結果の記録がある方
- ・ 横須賀市の住民の方

なお、この研究では個人情報完全に削除された(匿名加工された)データのみを使用するため、対象となる方々に新たにご協力いただくことはありません。

研究の目的

胃がんの発症には、ヘリコバクターピロリ菌の感染が深く関わっています。横須賀市では2012年から、血液検査でピロリ菌の感染と胃の状態を調べ、胃がんのなりやすさを判定する「胃がんリスク検診」を実施してきました。この研究では、検診を受けた方々のその後の胃がんの発症状況を調べることで、このリスク検診が本当に胃がんになりやすい人を見分けられているのかを確認します。この結果は、今後の効果的な胃がん検診の実施方法を考える上で重要な情報となります。

研究の方法

この研究は以下の方法で実施します。

[研究の期間]

2025年3月(または研究許可日)～2030年3月

[研究に用いるデータについて]

- ・ 横須賀市の保健事業として、胃がんリスク検診データとがん登録データの照合・匿名化が行われます
- ・ 本研究はこの保健事業で作成された匿名加工データのみを使用します
- ・ データの照合作業自体は本研究の対象外です

[本研究での解析内容]

個人情報を含まないデータを用いて以下を調べます

- ・ 検診結果ごとの胃がんの発症率
- ・ 発見された胃がんの進行度
- ・ 治療方法の内訳
- ・ 胃がん以外のがんの発症状況患者情報(治療開始時)

試料・情報の提供・取得・管理

この研究は協定に基づき複数の機関で共同実施されます。収集した情報は、神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部に集約し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管・管理します。

個人情報の管理方法

この研究で用いるデータは、横須賀市、横須賀市医師会との保健事業において、個人情報（氏名、住所など）が完全に削除された匿名加工データのみを使用します。本研究の遂行において、研究者は個人を特定できる情報を一切持ちません。データは神奈川県立がんセンターの情報セキュリティ基準（JIS Q 27001 認証）に従い、パスワードによる保護や施錠管理などの対策を行い、安全に管理します。研究終了後は適切な期間の保管の後、確実に廃棄します。研究の成果は学会や医学雑誌などで発表しますが、個人が特定される形での公表は一切ありません。なお、この研究に使用されるデータの照合・匿名加工は、横須賀市の保健事業として別途実施されています。

研究資金および利益相反

この研究は神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部の研究費にて行います。医学的視点から実施する研究であり、特定の企業や団体の利益や便宜を図るものではないため、申告すべき利益相反状態はありません。

研究組織

この研究は多機関共同研究として共同で行います。

研究代表者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部 （部長 成松宏人）

共同研究機関：

福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 （主任教授 坪倉正治）

横須賀市医師会 （医師会理事・がん検診統括長 水野靖大）

研究協力機関：
横須賀市民生局健康部健康管理支援課

情報の利用停止

この研究では匿名加工データを使用するため、特定の個人の情報利用停止のご要望にお応えすることはできません。ただし、研究に関するご質問や研究全体に対する意見については、下記の相談・連絡先までお問い合わせください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者: 成松宏人

研究事務局: 中村翔

連絡先: 神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん予防・情報学部

住所 〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2

電話番号 045-520-2222 (代) (内線 4023)